

場帳を有効に使うために

■大切な最後の決断のための道具

マーケットの価格について、万人共通の正解などありません。
だからこそ、自分だけの決断をする必要があるのです。
自分自身の決断こそが、自分にとっての正解なのです。

■雑音を排除するために

つい、「正解探し」をしてしまいます。そして、雑音に耳を傾けます。
場帳に終値を書き込み、サッと流れを見る——この時だけ雑音から解き放たれると考えるのが、実践家です。

■同じ状況で書き、短い時間で考える

できる限り、同じ場所、同じ時間、同じ気持ち、同じペンで値段を書き込んでください。納得できないポジションを持ってから後悔するのではなく、迷わず自分自身で決定するための工夫です。

■チャートとの相違点と使い分け

チャートは便利です。しかし便利すぎるのです。
値動きが「画」(え)となって描かれているから、あまり考えずに終わらせてしまいます。そして後悔します。
チャートでトレンドを想定するのが先決ですが、大きなイメージを持つだけです。最後に場帳の数字を見ながら神経を使うことで、最終的な“売り買い”の決断が可能になります。

■すき間を空けて使う

用紙は1枚に6銘柄書き入れることができますが、例えば右図のようにすき間を空けると見やすくなります。
文字がピッタリと書き込まれた紙よりも文字量の少ない紙のほうがラクな気持ちで向き合えるという、人間の心理があるからです。
もし20銘柄の場帳をつけるのなら、業種ごとにページを替える、ページごとに銘柄数や位置を変える、といった工夫をすると、適度なアクセントがつきます。

■書き込む情報

右図では出来高も記入していますが、人気の圏外にある低位株は出来高の増減が参考になるからで、通常は終値だけで十分です。「必要最低限の情報にとどめる」ことが大切です。
自分が売買した日などを記入する人がいますが、マーケットが個人の都合を聞いてくれることはありません。雑音から離れるために場帳をつけているのに、別の雑音をつくり出してしまっただけです。

	3407 旭化成	7011 三菱重工
10/1	402 5236	297 14100
2	406 6187	301 11163
3	396 6455	304 7976
4	402 4121	318 26512
5	408 3727	321 19654
6	405 4360	325 13259
7	403 5104	320 15035
8	406 6433	325 9031
9	413 7257	329 10519
10	420 6387	332 17528
11	427 5521	336 13530
12	432 5557	332 9637
13	436 4728	333 7366
14	436 5529	331 14731
15	436 5728	332 8348
16	433 6671	340 14657
17	431 6096	345 12603
18	438 6506	347 10143
19	432 5415	345 8830
20	436 4304	343 10791
21	434 2904	341 8479
22	439 4098	335 7753
10/1	443 8645	336 7320
2	460 8495	329 12400
3	462 6103	331 9060
4	456 4086	330 6675
5	454 5849	324 10310
6	444 5219	322 11200
7	438 5332	325 9030
8	439 5798	317 13363
9	443 5229	312 16355
10	440 3349	323 11629



自立する投資家をサポートする

林投資研究所

<http://www.h-iro.co.jp/>

171-0022 東京都豊島区南池袋 3-13-8 ホウエイビル 4階

電話 03-5953-8761 FAX 03-5953-8762